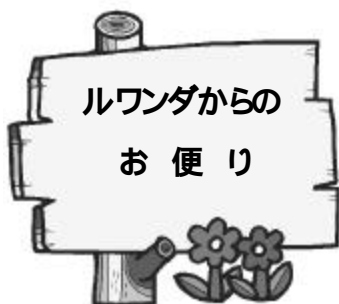


ウムチョ ムウイーザ通信 No. 7

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。



最近のウムチョムウイーザ学園の様子を、チャールズ校長先生のお便りにより お知らせします。

親愛なる日本の皆さん、いつもウムチョムウイーザ学園に温かいお心をお寄せくださってありがとうございます。私たちは、日本の皆さん、特に、ルワンダの教育を考える会の皆さんに心から感謝しています。

皆さんの援助のおかげで、多目的ホールと保健室が完成しました。このような施設を持っている学校は、ルワンダにはまだありません。

これまで、保護者の集まりは、学校の軒下で行ってきましたが、これからは天気を気にすることなく、多目的ホールで行うことが出来ます。

雨の日にも子供たちは安心して広い場所で遊べます。

また、**福島県の三春小学校の皆さんが**、桜の苗木を送ってくださり、校庭に植えました。日本と気候の違うルワンダで、花が咲いてくれるのか、期待と不安をもって育てています。

昨年政府から、学校ナンバーをいただくことが出来たことは、すでにお知らせしました。それに伴い、私（チャールズ校長）も政府の教育委員会(日本の文部科学省)のメンバーになりました。

ルワンダでは、定期的な学力試験は全国同一問題で実施します。卒業試験も同様です。私は、その試験の問題を作る委員に選ばれました。

ルワンダでは、この卒業試験の成績で、中学校への進学が決まります。3年後の第1回目の卒業生も、この試験が受けられるようになりました。

「家畜飼育による自立支援事業」も順調で、新しくヒヨコを購入しました。今までの経験を活かして大切に育てています。現金収入も増え、世話をしてくれる方の人件費と家畜のえさ代は出せるようになりました。今回のヒヨコが順調に育てば、ますます収益が上がると思います。

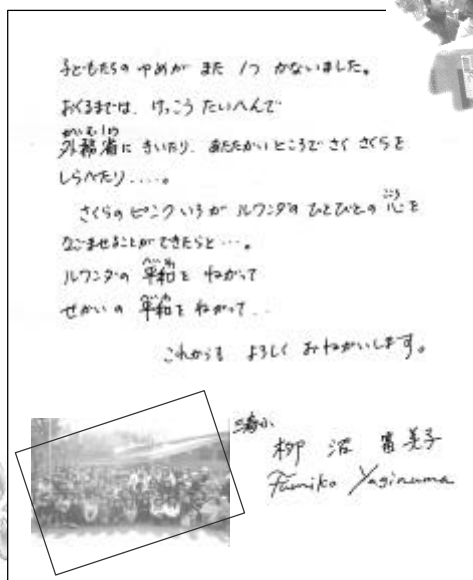
皆さんの心のこもったバスが、1日も早く届くことを祈っています。

ルイズから、7月には数名のメンバーが学校を訪問して下さると言ううれしいニュースを聞いています。

皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

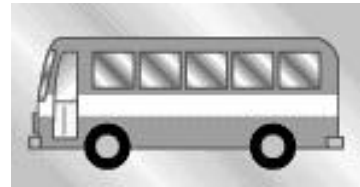


多目的ホール（建設中の様子）



三春小にも植えました

4輪駆動のバス ルワンダへ ～白馬村の雪の中から～



昨年のチャリティーコンサート、『ピーストレイン』の収益金で送ろうと考えていた4駆のバスがようやく見つかりました。

【4輪駆動の中古のバス】と言う、厳しい条件がつくため、なかなか見つかりませんでした。

トヨタ自動車、日産自動車、三菱自動車、遠くは秋田の友人まで思いつく限りの方をお願いして探してきました。

15年度中に送るのは無理かな...と思っていた2月中旬、白石のオートパールさんから、4駆のバスが見つかったと言う連絡が入りました。

長野県・白馬村の雪の中に埋もれていたのは、走行距離4万キロ 真っ赤なボディーがルワンダの空にぴったり似合うステキなバスでした。



オートパールの社長さんからは、「このバスは、雪の中から掘り出してきた、まさしく掘り出し物ですよ!」とっていただきました。積雪のため傷んだ屋根を修理して、4月18日、横浜港から無事出航しました。

バスが無事ルワンダに着いた暁

には、学校までの距離があまりにも遠くて通学をあきらめていた子供たちや、地雷を踏んで足が不自由になってしまった子供たちに、学校で学ぶチャンスを作ってくれることでしょう。

現在、通学している子供たちにも、遠足や社会見学という楽しい体験が出来るようになると思います。

コンサートに関わった全ての皆さんに感謝して報告とさせていただきます。

ふくしま地球市民フェスティバル2004



去る3月7日、日曜日、郡山のビックパレットにて、福島県国際交流グループ、県国際交流協会、JCA二本松訓練所、ふくネットの共催による「ふくしま地球市民フェスティバル2004」が、4,500名の来場者を迎えて盛大に開催されました。

ルイズと飯高が実行委員として一年間にわたって会議を重ね、イベント全体の企画や、協賛金集め、広報活動など、準備を進めてきました。

当日、本会は、展示ブースと地球レストランコーナーに出展しました。

ブースでは、パネル展示、学生ボランティアが大活躍してくれたルワンダ語クイズ、ポストカードの販売を通して、来場者に本会の紹介と、今後の理解を訴えました。

レストランコーナーでは、ソース

ドピヨンド、ポムソテーと言ったルワンダ料理、ルワンダコーヒー、紅茶の提供をして、ルワンダを体感してもらいました。多少、準備の不手際がありましたが、長蛇の列が出来、大盛況でした。

また、本年は、そば一楽会さんが、本会への協賛参加と言うことで、レストランコーナーにお隣同士で出展し、後日、ご寄付をいただきました。

来年も、3月6日、日曜日に開催が決定しています。皆様のお手伝いをお待ちしています。



2月21日、WFP（国連世界食糧計画）応援団は、カンベンガ・マリールイズさんをお招きして、

「ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さ」と題した講演をしていただきました。

簡潔で分かりやすい言葉で語られた実体験に基づくお話に皆強く心を動かされました。植民地統治下で、どんなことが行われたのか、難民たちがどれほど辛い立場にあったかなど伺い、「人が人をそういう立場に追いやってはいけない」と、涙ぐむ方もいました。

ルイズさんは、WFPの援助食糧が、そういう状況でどれだけ難民の力となり、助けとなっていたか知れないと、私達を励ましてくださいました。命をつなぐ食べ物があって、初めて未来を見ることができ、その未来を現実のものとするため、また、それを壊す戦争を回避するために、「教育こそが必要だ」というルイズさんの言葉に共感を覚えました。

（WFP応援団 村田 祈世子）



子供たちに教育の機会を与えるため、キザリに学校建設、運営の考え、原点を見た、生徒の親たちも自信と意欲を持つことができるような配慮がされており、地域開発のための息の長い確かな目線を感じたのです。ルイズさんの話を多くの方に伝えていきたいと思います。ありがとうございました。





*** 新事務所開設のお知らせ ***

今まで、本会は、伊達町のルイズさんの家に間借りをしておりましたが、この度、ルイズさんの転居に伴い、福島市に念願の事務所を開設しました。ルイズさんの家からは、歩いて30秒の1Kの小さなアパートです。

新住所 〒960 8252

福島市御山字中川原44-2 サンコーポ1号棟102号室
TEL 024 533 8289

*** ホームページ開設のお知らせ ***

5月1日より本会のホームページを開設します。

多くの方に訪問していただけるような楽しいものにしたいと思います。

アドレス <http://www.rwanda-npo.org/>

内閣府のホームページ、日本改革前線マップにも本会が紹介されています。

アドレス <http://www.zensen.jp/tokku/npo.html>

ご覧になってください。

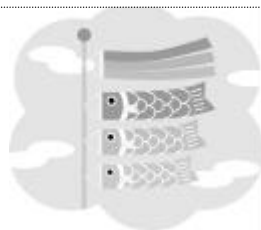
*** 本のご案内 ***

学研から

きみもやってみよう 国際協力 地球市民としてできることと言う全6巻の全集が出版されました。その第5巻に本会のことが紹介されています。同じ巻の福島第三小学校の紹介の中でも、ルイズのことが取り上げられています。

5巻のみの購入も可能だそうです。

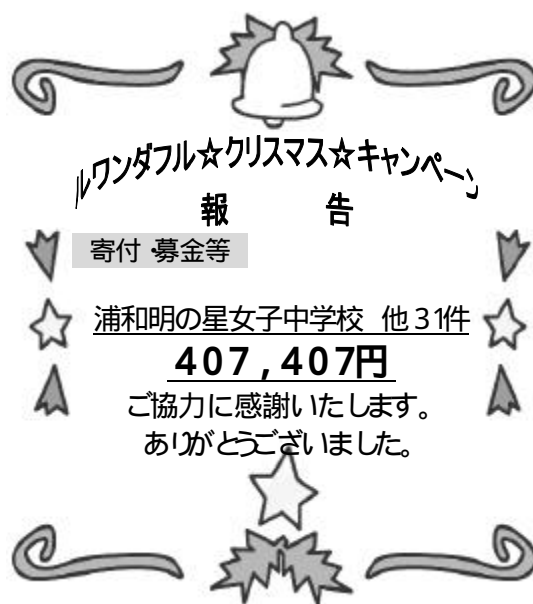
どうぞ書店でお買い求めください。



会費は下記へお願いします

正会員 5,000円

賛助会員 10,000円



ルワンダフル☆クリスマス☆キャンペーン

報 告

寄付 募金等

浦和明の星女子中学校 他31件

407,407円

ご協力に感謝いたします。

ありがとうございました。

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

編集後記

春です。例年と比べて長めのゴールデン・ウィークですが、みなさんは、いかがお過ごしでしょうか？
事務所が、開設されました。そして、ホームページも開設されました。この会も、どんどん進化しています。
私たち自身も、様々な期待を胸に、大いにはばきたいものです。



ルワンダの教育を考える会

理事長 **高橋 啓子**

理事 **カンベンガ・マリルイズ**

〒960-8252 福島県福島市御山字中川原44-2
サンコーポ1号棟 102号室

TEL/FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org/>

e-mail: umuco@smail.plala.or.jp